

平成 29 年度卒業式式辞

どうぞお座り下さい。

卒業生ならびにご家族の皆様、ご卒業心よりお慶び申し上げます。日夜研鑽を積んで来られた卒業生の皆さんに心より敬意を表するとともに、皆さんを長年にわたり温かく支えて来られたご家族の皆様のお喜びはひとしおのことと拝察いたしております。

本日ここに、ご来賓の河村たかし名古屋市長、渡辺義郎市会議長をはじめ、ご来賓のご臨席を賜わり、教職員一同とともに、1000名の卒業生に卒業証書、学位記を授与する運びとなりました。

ちょうど 1000 名とは実に緑超の良い数字で、卒業生の皆さんの輝かしい前途と、名市大のさらなる発展を約束しているかのようです。

この数年、卒業式の式辞では、大きなスライドを使っていたので、「今年はなぜないのか」と期待はずれの方も多いかと思います。そこで、おめでたくも、明るい卒業式になればと思い、別の趣向を考えています。

なお本日の卒業式の様子と、式辞の中でお話する学生の活動の動画は、youtube にアップします。「名古屋市立大学卒業式」にアクセスして、ご家族や友達と楽しんで下さい。でも、スマホは、式が終わってからにして、今暫くは、私の話に集中して下さい。

明るいといえば、冬季オリンピックやパラリンピックでの日本人の活躍に、私たちは感動しました。卓球の張本智和選手や平野美宇選手、将棋界の藤井聡太六段などの若い力に明るい未来を感じます。

一方、皆さんのご家族や私たち教職員は、立派に成長され社会に巣立たれる皆さんを、誰よりも誇らしく思っています。

学生(or 皆さん)や教職員の活躍により名市大は最近、社会から高い評価を得ています。それらを数字を用いてご紹介します。

まず 13 です。「世界大学ランキング」をご存知でしょうか。イギリスの調査機関 Times Higher Education によると、名市大は、世界では 18000 大学中、同率 601 位、国内では 780 大学中、同率 13 位でした。

世界大学ランキングは、大学の研究、教育、外部資金、国際化を評価するもので、名市大はそれらにおいて、トップ 2、3%の大学だと認められたのです。

次は 1 と 15 です。日経新聞の調査による「地域貢献度ランキング」で、名市大は全国 15 位、東海

地区では1位でした。

最後は19です。名市大の東海地区における進学ブランド力は知名度が1 昨年の29位から昨年には19位と躍進したことが、調査機関のリクルートから特筆されました。調査開始以来、過去10年連続で東海地区で志願したい大学ベスト10には入っており、「名市大は実力はあるが、知名度が低い」を、ようやく払拭しつつあります。

皆さんは、全国でも有数の名市大で学んだ「誇り」を持つとともに、社会をリードする立場になる「責任の重さ」を感じていただきたいと思います。

オール名市大

一方、評価はちよつとした緩みで容易に変化するものです。

名市大は、これからも4年前に策定した「名市大未来プラン」と、この4月からスタートする第三期中期計画を着実に実現することにより、さらなる飛躍をまいります。オール名市大

名市大の実力を高めたのは、教職員だけでなく、学生の力によるものです。そこで名市大生が取り組んだ活動の一端を紹介します。

はじめは、経済学部4年の杉本浪乃さんで全日本電卓競技大会で、4年連続日本一に輝かれました。しかも大会歴代最高得点。この後、凄ワザを見せていただきます。

医学部6年の長野あやさんは、妹のれいさんと共に、西日本医科学生総合体育大会の水泳自由形やフリーリレーで毎年表彰台に。医学実習の多忙な中での活躍に敬服しています。

人文社会学部4年の安藤めぐみさん、小林まりなさん、土屋摂子さん、寺本かんなさんの4名は、現在政治コンペで優秀賞を、学会受賞されました。

看護学部では、東日本大震災後、被災地の陸前高田市から毎年2名の学生を迎えています。今年は2期生の黄川田ゆりあさんと佐々木ほなみさんが地元の大船渡病院に就職されます。一年先輩の佐々木さんが活躍する姿が中日新聞で紹介されました。苦節の7年と名市大で学んだことを糧に、心優しい地域医療の担い手になってください。

経済学研究科では修士過程に、経済・医学・薬学が協力した、全国初となる医療経済マネジメントコースを新設し、今年第一期生が修了します。新しい感性を持つ医療が名市大から次々と生まれることでしょう。

学生時代にすでに優れた研究をする名市大生は少なくありません。薬学研究科修士 2 年の丸岡純也(じゅんや)さんは、神経疾患の解明により、また薬学科 6 年の浅野岳人(たけと)さんは男性機能の解明により、それぞれ学会から受賞されました。

芸術工学部 4 年の林えみさんは、瑞穂区ジョギングパトロールグッズ作品展で 139 作品の中から最優秀賞を、また同じ 4 年の大橋みさきさんは、日本造園学会中部大会で最優秀学生発表賞を、それぞれ受賞されました。

名市大生は、施設や里親の子どもたちへの学習支援を積極的に行っています。その一つは「ようこそ大学へ！プロジェクト」で、名古屋市子ども青少年局と連携し、4 年前から夏休みに児童・生徒を名市大に招き、教職員とともに支援をしています。

子どもの貧困率が 17%にも増えた現在、名市大生の活動は社会から注目されています。

芸術工学部 4 年の天野愛子さんらの映像研究室では、3 年前の開学 65 周年では記念映画、「儂時計」を制作し、本年度は、名古屋市の魅力をとりもどす映画「無古屋」を制作上映されました。さらに名古屋市の環境局や千種区のプロモーションビデオの制作にも協力されています。これは、YouTube にアップします。

開学 65 周年を記念して、愛知県芸術文化センター・で、本学の管弦楽団・教職員・学生らによるベートーベン第九は、美しくも力強い一体感ある合唱で、1700 名の観衆を感動の輪で魅了しました。これも、YouTube にアップします。

ここで、杉本浪乃さんの電卓の実演をしていただきますが、準備をしていただく間に、医学部 3 年の田多加津輝さんにジャグリングを被露していただきます。田多さんは、国内外の大会で優勝するなど輝かしい成績を残しています。

杉本さん、田多さんありがとうございました。

本日は、学生のすべての活動をご紹介できませんが、私は、式辞を準備しながら学生の成長を思い起こし感無量の思いです。ご父兄ならびにご来賓の皆さん、すべての卒業生に、これまでの努力を称え、これからの人生に幸多かれとの想いをこめて、盛大なる拍手をお願いできないでしょうか。(拍手)

有り難うございました。

最後に、社会に巣立つ皆さんに、学長からのメッセージをお送りします。式が始まる前に流れていた、「世界に 1 つだけの花」の中に、「ナンバーワンにならなくてもいい、もともと特別なオンリーワ

ン」の有名な歌詞があります。私は、「皆さんには、ナンバーワンにも、オンリーワンにもなっていた
だきたい」、と思います。

オンリーワンで、まず思い浮かべるのが、研究における独創性です。しかし残念ながら最近、わ
が国では、結果が出やすい研究や、流行を追う研究が増えています。それでは研究の楽しさがわ
かりません。皆さんは、自由で豊かな発想のもと、今は注目されずとも、将来脚光を浴びるような研
究を地道にしていだきたいと思います。

企業や公務員として働く方々も同様です。与えられた仕事を確実にするだけでなく、これまでの
慣習にとらわれず、新しいことを見出し、他の人とは一味違う仕事をしてください。フロンティア精神
を持った時代の風雲児が名市大生の中から出ることを願っています。

オンリーワンは、社会生活においても大切です。昨今、社会や政治に無関心な人が増えていま
す。「どうせ何を言っても変わらないのだから」との諦めもあるでしょうが、そこには社会の発展はあり
ません。

時には、社会や権力に対して批判的に見ることも必要ではないでしょうか。しかし、単に批判する
のではなく、皆さんが所属する組織に愛情と協調性を持ち、あなた自身の考えを深めることだと思
います。

そして、信念を持って決めた時は、たとえ賛同者が少なくとも、粘り強く実行する気力が必要です。
大衆の考えに流されない、それこそが「オンリーワン」です。

この考えは、皆さんが将来、組織の上層部になった時も同じで、部下の気持ちを思いやり、組織
の幅広い意見を聞くことに相通じるものです。

オンリーワンは、私たち名市大においても重要です。個々の自由な発想を重んじる大学だからこ
そ、目先の成果にとらわれず、大学としての本質を失わず、時流に流されることもなく、強い信念を
持ち、常に進化することだと、学長として強く自覚しています。

このように考えますと、オンリーワンになるためにはどうすれば良いのでしょうか？ 自分自身の揺
るぎのない考えのもと、「自信と信念と希望」を持つことだと、私は思います。

「信念、自信、希望」は奇しくも、サミュエルウルマンの詩「青春」の中で謳っている、「若さとは、
年齢ではない。信念、自信、希望を持つことだ」に相通じるものです。「青春」の歌は短い詩です。
先にお話した一 You-Tube に載せていますので、今晚みてください。

「凌雲之志」です。皆さんの人生はこれからです。大きな志を持つていただきたく、心を込めて
「凌雲之志」を揮毫しました。

名市大はこれからも、輝かしい伝統のもと、学生と教職員が一体となり、名古屋市や同窓会のご支援を賜りながら、名市大未来プランにある「世界をリードする大学」を目ざして飛躍してまいります。ご家族の深い愛情で本日を迎えられた卒業生の皆さん、母校、名市大に誇りと愛校心を持ち、社会に役立ち活躍されることを心より願い学長の式辞といたします。ご卒業おめでとうございます。

平成 30 年 3 月 26 日

名古屋市立大学学長
郡健二郎